



Emergency Responder と Intrado V9-1-1 Enterprise Services

Cisco Emergency Responder (Emergency Responder) は、地域通信事業者 (LEC) との直接接続の代わりに、Cisco Unified Communications 環境で Intrado V9-1-1 for Enterprise Service をサポートしています。Intrado V9-1-1 for Enterprise Service は、Intrado のお客様にローカルルーティングおよび緊急サービス応答を提供します。Emergency Responder は、Intrado と連携して、企業ネットワーク上に存在する (構内) 電話機や、企業ネットワークから離れて設置されている (構外) 電話機への緊急サービスを提供します。

Emergency Responder の設定、Emergency Responder ユーザの管理、ERL 使用の詳細およびその他関連トピックについては、[スケジュールされた Intrado アップデートの追加](#)、(13 ページ) を参照してください。

次の各トピックでは、Emergency Responder と Intrado V9-1-1 for Enterprise Service の連携動作の概要や、Intrado V-9-1-1 Enterprise ユーザをサポートするための Emergency Responder の設定および使用方法について説明します。

- [Intrado V9-1-1 for Enterprise Service](#), 1 ページ
- [Intrado V9-1-1 for Enterprise Service のサポートのセットアップ](#), 3 ページ
- [ERL データの移行](#), 7 ページ
- [Emergency Responder での構外ユーザのサポートのセットアップ](#), 8 ページ
- [スケジュールされた Intrado アップデートの追加](#), 13 ページ
- [スケジュールされた Intrado アップデートの更新](#), 14 ページ

Intrado V9-1-1 for Enterprise Service

Intrado V9-1-1 for Enterprise Service のサブスクリイバである場合は、Emergency Responder を使用して緊急コールの管理を簡素化できます。Emergency Responder には、ロケーション情報を直接 Intrado データベースに入力し、同期させることができるインターフェイスが用意されています。

Emergency Responder は、構内電話機と構外電話機の両方の緊急コールのためのロケーション情報を提供し、Intrado および Unified CM と連携して緊急コールを完了します。

Emergency Responder は、IP サブネットまたは MAC アドレス（手動で設定して割り当てた場合）を使用して IP Phone を追跡します。Emergency Responder では電話機のステータス（構内、構外、位置未確認）を保持し、ALI/ELIN 情報を Intrado に渡します。構内電話機のユーザは Cisco Unified Communication を使用して、緊急コールを Intrado および指定した緊急プロバイダーにルートします。

構外電話機を持つユーザは、自分のロケーションを入力し、この情報を各自のディレクトリ番号に関連付けるまで、緊急コールを発信することができません。ロケーション情報が確認されると、構外電話機から発信された緊急コールを完了できます。

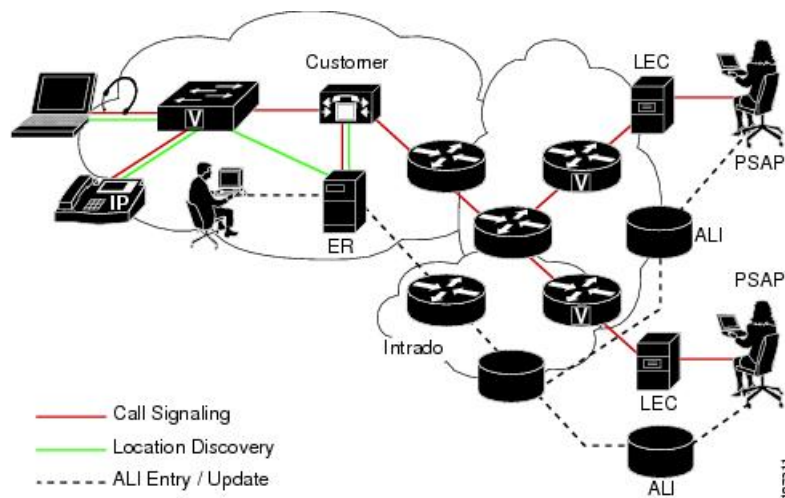


(注)

ユーザは、構外ロケーションを DID (DN+外部マスク) ごとに 1 つしか設定できません。これはシェアドラインにも適用されます。2 台の構外電話機で DID を共有している場合、ユーザはその DID に 1 つのロケーションしか関連付けることができません。

次の図に、ユーザ、Emergency Responder、および Intrado の間の相互関係を示します。

図 1：ユーザ、Emergency Responder、および Intrado の間の相互関係について



緊急コールフロー

ユーザが緊急コールを発信すると、次の処理が実行されます。

- 1 Unified CM が、そのコールを Emergency Responder にルーティングします。
- 2 Emergency Responder はそのコールを Intrado にルーティングします。
- 3 Intrado は、発信者の 10 桁の ELIN を受信し、その発信者番号から発信者の ALI データを取得します。

- Intrado がコールを完了します。

Intrado V9-1-1 for Enterprise Service のサポートのセットアップ

Intrado による緊急サービスサポートを確認したら、Intrado V9-1-1 for Enterprise Service をサポートするように Emergency Responder を設定する必要があります。

Intrado ERL を作成する前に、次の手順で説明している作業を完了する必要があります。



- (注) 次の作業を完了する前に、DNS サーバの IP アドレスを設定して、Intrado から提供された URL を解決する必要があります。「Cisco Emergency Responder の Cisco Unified Operating System Administration Web インターフェイス」を参照してください。

手順

- ステップ 1** 検証および更新インターフェイス (VUI) で次の設定を行います。
 - Intrado から提供された証明書をアップロードします。
 - 証明書を検証します。
 - Intrado アカウント情報を設定します。
- ステップ 2** コールを Emergency Responder サーバ上の Intrado にルーティングするためのルート パターンを設定します。
- ステップ 3** コールを Unified CM サーバ上の Intrado にルーティングするためのルート パターンとゲートウェイを設定します。
『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Understanding Route Plans」の章と『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Gateway Configuration」の章を参照してください。
- ステップ 4** Intrado ERL を作成し、Intrado ERL の ALI データの有効性および整合性を Intrado TN データベースと比較して確認します。
- ステップ 5** Intrado ERL をスイッチ ポート、IP サブネット、および位置未確認の電話機に割り当てます。

関連トピック

- [Emergency Responder での構外ユーザのサポートのセットアップ, \(8 ページ\)](#)
- [Intrado VUI 設定のセットアップ, \(4 ページ\)](#)
- [Emergency Responder での Intrado ルート パターンのセットアップ, \(5 ページ\)](#)
- [Intrado ERL のセットアップ, \(5 ページ\)](#)
- [ALI の不一致の調整, \(6 ページ\)](#)

- [スイッチポートの設定](#)
- [IP サブネットベースの ERL のセットアップ](#)
- [位置未確認の電話機の特典](#)

Intrado VUI 設定のセットアップ

Intrado VUI 設定を実行する前に、アカウント情報と Intrado からの証明書が必要です。



- (注) Emergency Responder サブスクリイバへのフェールオーバーが発生した場合に緊急サービス サポートを続行するには、証明書ファイルを Emergency Responder サブスクリイバに個別にアップロードする必要があります。

Intrado VUI 設定を行うには、次の手順を実行します。

手順

手順

-
- ステップ 1** Emergency Responder から、[System] > [Intrado VUI Settings] を選択します。
[Intrado VUI Settings] ページが表示されます。
- ステップ 2** [Upload Certificate] をクリックします。[Upload Certificate] ウィンドウが表示されます。[Browse] ボタンを使用して Intrado 証明書ファイルを探し、ファイルを強調表示して [Upload] ボタンをクリックします。
- ステップ 3** 隣接するテキストボックスに、証明書のパスワードと VUI URL を入力します。[Test and Validate] をクリックします。
- ステップ 4** 次のアカウント情報を入力します。
- VUI Schema URL
 - Intrado Account ID
 - Max VUI Connections
- ステップ 5** [Update] をクリックします。
Intrado VUI 設定の詳細については、[Intrado VUI Settings](#) を参照してください。
-

関連トピック

- [Emergency Responder での Intrado ルート パターンのセットアップ, \(5 ページ\)](#)
- [Intrado ERL のセットアップ, \(5 ページ\)](#)
- [ALI の不一致の調整, \(6 ページ\)](#)

Emergency Responder での Intrado ルート パターンのセットアップ

Intrado V9-1-1 for Enterprise Service で何らかの緊急コールを完了できるようにするには、コールを Intrado にルーティングするためのルート パターンを設定しておく必要があります。

Intrado のルート パターンを作成するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Emergency Responder から、[System] > [Telephony Settings] を選択します。
[Telephony Settings] ページが表示されます。
- ステップ 2** [Intrado Route Pattern Settings] で、Intrado のルート/トランスレーション パターンを入力して [Add] ボタンをクリックします。
-

Intrado ERL のセットアップ

Intrado ERL を追加できるようにするには、まず Intrado ルート パターンを追加する必要があります。



-
- (注) Intrado ERL は、次の点で従来の ERL とは異なります。
- ルート パターンは、[Telephony Settings] Web ページの設定済みリストからのみ選択できます。
 - Intrado Validation & Update Interface (VUI; 検証および更新インターフェイス) を使用して、Intrado から ALI データを照会し、検証できます。
 - 緊急コールを正常にルーティングするには、Intrado VUI を使用して ALI データ (TN 更新) を Intrado に送信する必要があります。
-

Intrado ERL を設定するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Emergency Responder から、[ERL] > [Intrado ERL] > [Intrado ERL(Search and List)] を選択します。
[Find Intrado ERL Data] ページが表示されます。
- ステップ 2** [Add New ERL] ボタンをクリックします。
[Add New ERL] ウィンドウが開きます。各フィールドの詳細な説明については、[Find Intrado ERL](#) を参照してください。

- ステップ 3** ERL 情報を入力します。
- ステップ 4** [ALI Details] をクリックします。
[ALI Information] ウィンドウが開きます。
- ステップ 5** ALI 情報を入力します。 Intradocs MSAG データベースでアドレスを検索するには、[Query from Intrado] をクリックします。
- ステップ 6** ALI 情報の編集が終わったら、[Pre-validate from Intrado] をクリックします。
- ステップ 7** [Add New ERL] ウィンドウをアクティブ ウィンドウにして (アクティブになっていない場合)、[Insert] をクリックします。
ERL とその ALI が保存されます。
-

Intrado ERL のインポート

複数の ERL があり、それらをすべて一度に追加する場合は、複数の ERL 定義を含むファイルを作成し、すべての ERL を Emergency Responder 設定に一度にインポートすることができます。ERL のインポートの詳細については、[複数の ERL のインポート](#) を参照してください。

Intrado ERL 情報のエクスポート

ERL の設定のバックアップや移動などに使用するために ERL エクスポート ファイルを作成するには、[Export ERL] ページを使用します。ERL のインポートの詳細については、[ERL 情報のエクスポート](#) を参照してください。

関連トピック

[Intrado VUI 設定のセットアップ](#), (4 ページ)

[Emergency Responder での Intrado ルート パターンのセットアップ](#), (5 ページ)

[ALI の不一致の調整](#), (6 ページ)

ALI の不一致の調整

Emergency Responder を使用して、Intrado VUI のレコードをデータベース内のレコードと比較し、不一致がある ALI レコードを表示できます。各レコードを調べて、Intrado の情報でローカルレコードを更新するか、Intrado のレコードを更新するかを選択できます。

ALI の不一致レコードを調整するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** Emergency Responder Administration で、[ERL] > [Intrado ERL] > [View ALI Discrepancies] の順に選択します。
[View Intrado ALI Discrepancies] ページが表示されます。

- ステップ 2 特定の ELIN を見つけるための検索条件を入力し、[Find] をクリックします。または、Intrado ALI のすべての不一致を表示するには、検索条件を指定せずに [Find] をクリックします。検索結果が表示されます。
- ステップ 3 表示する ELIN の横にあるオプション ボタンをクリックするか、[View ALI Discrepancies] ボタンをクリックして特定の ELIN の [View Intrado ALI discrepancies] を開きます。特定の ELIN の [View Intrado ALI Discrepancies] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4 ローカルの Emergency Responder データベースまたは Intrado のどちらかから正しいデータを選択します。
- ステップ 5 ローカルの Emergency Responder データベースへの変更を保存するには、[Save] をクリックします。Intrado VUI への変更を保存するには、[Save Intrado ALI Info] をクリックします。
- ステップ 6 このウィンドウを閉じるには、[Close] をクリックします。

関連トピック

[Intrado VUI 設定のセットアップ, \(4 ページ\)](#)

[Emergency Responder での Intrado ルート パターンのセットアップ, \(5 ページ\)](#)

[Intrado ERL のセットアップ, \(5 ページ\)](#)

ERL データの移行

Emergency Responder は、既存の従来型 ERL から Intrado ERL への移行、およびその逆方向の移行をサポートしています。

従来の ERL データの Intrado ERL データへの移行

従来の ERL を Intrado ERL に移行するには、次の手順を実行します。

手順

手順

- ステップ 1 Emergency Responder Administration で、[ERL] > [ERL Migration Tool] の順に選択します。[ERL Migration Tool] ページが表示されます。
- ステップ 2 検索パラメータのドロップダウン ボックスで [Conventional ERL] を選択し、検索条件を入力して [Find] をクリックします。
- ステップ 3 ERL 名の横にあるチェックボックスをオンにして、移行する ERL を選択します。[Enter Route Patterns for ERL Migration] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 4 ドロップダウンメニューから、更新されたルートパターンを選択します。
- ステップ 5 [Migrate to Intrado ERL] をクリックします。

関連トピック

- [Intrado V9-1-1 for Enterprise Service のサポートのセットアップ, \(3 ページ\)](#)
- [Intrado ERL データの従来の ERL データへの移行, \(8 ページ\)](#)

Intrado ERL データの従来の ERL データへの移行

Intrado ERL を従来の ERL に移行するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 Emergency Responder Administration で、[ERL] > [ERL Migration Tool] の順に選択します。
[ERL Migration Tool] ページが表示されます。
- ステップ 2 検索パラメータのドロップダウンボックスで [Intrado ERL] を選択し、検索条件を入力して [Find] をクリックします。
- ステップ 3 ERL 名の横にあるチェックボックスをオンにして、移行する ERL を選択します。
[Enter Route Patterns for ERL Migration] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4 隣接するテキストボックスに、更新されたルートパターン/トランスレーションパターンを入力します。
- ステップ 5 [Migrate to Conventional ERL] をクリックします。

関連トピック

- [従来の ERL データの Intrado ERL データへの移行, \(7 ページ\)](#)
- [ERL](#)

Emergency Responder での構外ユーザのサポートのセットアップ

Cisco Emergency Responder を使用すると、社内ネットワークの外部（構外）にいるユーザは緊急コールを発信できます。構外緊急コールのサポートに必要なものは次のとおりです。

- Cisco Emergency Responder
- Unified CM 7.1 以降のバージョン

- Intrado V9-1-1 Enterprise Services

Off-Premise ERL を設定すると、ユーザは [Unified CM User Option] ページから、自分の構外電話機用のロケーション情報を入力できます。



- (注) Emergency Responder の構外ロケーション管理機能を使用するエンドポイントには、DID としてダイヤル可能な 10 桁の北米番号計画番号が必要です。ただし、Intrado への 911 コールの発信側回線番号に 10 桁の DID を作成して、Unified CM に短縮回線番号と外部電話番号マスクを設定できます。回線番号と外部マスクの各組み合わせは、必要に応じて発信者のロケーションの特定と PSAP によるコールバックに使用されるため、1 人の構外ユーザに固有である必要があります。

構外ユーザに対する Emergency Responder のサポートをセットアップするには、次の作業を完了します。

手順

- ステップ 1 Intrado で使用するように Emergency Responder を設定します。
- ステップ 2 構外サポートのために、Unified CM で Emergency Responder Location Management をイネーブルにします。
- ステップ 3 Unified CM で Emergency Responder の AXL アプリケーションユーザを設定します。
- ステップ 4 Cisco Unified Communications Manager で AXL 認証を設定します。
- ステップ 5 Off-Premise ERL を設定します。
- ステップ 6 Off-Premise ERL を IP サブネットと位置未確認の電話機に割り当てます。
(注) Off-Premise ERL をスイッチポートに割り当てることはできません。

関連トピック

- [Intrado V9-1-1 for Enterprise Service のサポートのセットアップ, \(3 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager での Emergency Responder Location Management のセットアップ, \(10 ページ\)](#)
- [AXL アプリケーションユーザのセットアップ, \(10 ページ\)](#)
- [AXL 認証のセットアップ, \(12 ページ\)](#)
- [Off-Premise ERL のセットアップ, \(12 ページ\)](#)
- [IP サブネットベースの ERL のセットアップ](#)
- [位置未確認の電話機の特定](#)

Cisco Unified Communications Manager での Emergency Responder Location Management のセットアップ

ユーザが Emergency Responder Location Management サーバを使用して構外ロケーションを入力できるようにするには、Unified CM サーバで Emergency Responder Location Management サーバを設定する必要があります。

Unified CM で Cisco Emergency Location Manager を有効にするには、次の手順を実行します。

手順

手順

-
- ステップ 1 Unified CM Administration で、[System] > [Application Server] を選択します。
 - ステップ 2 [Add New] ボタンをクリックします。
[Application Server Configuration] ページが表示されます。
 - ステップ 3 [Application Server Type] ドロップダウン ボックスで [CER Location Management] を選択します。
[Next] をクリックします。
 - ステップ 4 Emergency Responder Off-Premise アプリケーションを識別する名前を入力します。
この名前は [User Option] ページのナビゲーション ドロップダウン ボックスに表示され、ユーザはこの名前を選択して [Emergency Responder Off-Premise] ページに移動します。
 - ステップ 5 [Emergency Responder Off-Premise] ページの URL を入力します。この URL の形式は `http://cer_host/ofpuser` です。ここで、`cer_host` は Emergency Responder パブリッシャまたは Emergency Responder サブスクライバの名前または IP アドレスです。
(注) Unified CM Administration で、Emergency Responder パブリッシャと Emergency Responder サブスクライバの両方を個別のアプリケーション サーバとして入力する必要があります。
 - ステップ 6 [Save] をクリックします。
-

関連トピック

- [AXL アプリケーション ユーザのセットアップ, \(10 ページ\)](#)
- [AXL 認証のセットアップ, \(12 ページ\)](#)
- [Off-Premise ERL のセットアップ, \(12 ページ\)](#)

AXL アプリケーション ユーザのセットアップ

Unified CM の Emergency Responder 用に、AXL アプリケーション ユーザを設定する必要があります。これにより、構外ユーザが Emergency Responder の構外ユーザ Web サイトにログインできます。

AXL アプリケーションを設定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager で、[User Management] > [Application User] の順に選択します。 [Add New] ボタンをクリックします。
Cisco Unified Communications Manager に [Application User Configuration] ページが表示されます。
- ステップ 2 次の必須フィールドに入力します。
 - [User ID] : 「AXL Application User」などのわかりやすい名前を使用します。
 - [Password] : このユーザのパスワードを入力します。
 - [Confirm Password] : このユーザのパスワードを再入力します。
- ステップ 3 [Save] をクリックします。
- ステップ 4 上部にある [Cisco Unified Communications Manager] メニューで、[User Management] > [User Group] の順に選択します。
ユーザ グループの検索ページが表示されます。
- ステップ 5 検索条件に **standard** を入力し、[Find] をクリックします。
名前が **standard** で始まるユーザ グループの一覧が表示されます。
- ステップ 6 [Standard CCM Admin Users] リンクをクリックして、[User Group configuration] ページを表示します。
- ステップ 7 [Add App Users to Group] をクリックします。
[Find and List Application Users] ポップアップ ウィンドウが表示されます。
- ステップ 8 [ステップ 2, \(11 ページ\)](#) で作成したユーザ ID を検索条件として入力し、[Find] をクリックします。
アプリケーション ユーザの一覧が表示されます。
- ステップ 9 ユーザ ID の隣にあるチェックボックスをオンにして [Add Selected] をクリックします。
Unified CM によって、選択したユーザが [Standard CCM Admin Users] ユーザ グループに追加されます。
- ステップ 10 [User Management] > [User Group] の順に選択します。
ユーザ グループの検索ページが表示されます。
- ステップ 11 検索条件として **standard** を入力し、[Find] をクリックします。
名前が **Standard** で始まるユーザ グループの一覧が表示されます。
- ステップ 12 [Standard TabSync User] グループをクリックします。
- ステップ 13 ステップ 7～9 を繰り返して、ユーザを [Standard TabSync User] グループに追加します。
- ステップ 14 [User Management] > [User Group] の順に選択します。
ユーザ グループの検索ページが表示されます。
- ステップ 15 検索条件として **standard** を入力し、[Find] をクリックします。

名前が Standard で始まるユーザ グループの一覧が表示されます。

ステップ 16 [Standard RealtimeAndTraceCollection] グループをクリックします。

ステップ 17 ユーザを Standard RealtimeAndTraceCollection グループに追加するには、ステップ 7～9 を繰り返します。

AXL 認証のセットアップ

Emergency Responder と Unified CM 間に AXL 認証を設定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Emergency Responder から、[Phone Tracking] > [Unified CM] を選択します。

ステップ 2 [AXL Setting] で、次の情報を入力します。

- AXL Username
- AXL Password
- AXL Port Number

ステップ 3 [Insert] をクリックします。

Off-Premise ERL のセットアップ

従来の ERL とは異なり、Off-Premise ERL では ELIN または ALI 情報を入力する必要がありません。電話機の ERL は、IP サブネットおよび電話機の MAC アドレスの割り当てによって追跡されます。



(注) Off-Premise ERL は、IP サブネット、位置未確認の電話機、および手動電話機にのみ割り当てることができます。Off-Premise ERL をスイッチ ポートに割り当てることはできません。

Off-Premise ERL を設定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** Emergency Responder から、[ERL] > [Off-Premises ERL] > [Off-Premises ERL (Search and List)] を選択します。
- ステップ 2** [Add New ERL] ボタンをクリックします。
- ステップ 3** [Add New ERL] ウィンドウで次の情報を入力し、[Insert] をクリックします。
- ERL Name
 - Description
 - Intrado route pattern/translation Pattern
 - Onsite Alerts

[Add New ERL] ウィンドウで情報を入力します。各フィールドの詳しい説明については、[Off-Premises ERL](#)を参照してください。

(注) Off-Premise ERL を追加できるようにするには、まず Intrado ルートパターンを追加する必要があります。

Off-Premise ERL のインポート

複数の ERL があり、それらをすべて一度に追加する場合は、複数の ERL 定義を含むファイルを作成し、すべての ERL を Emergency Responder 設定に一度にインポートすることができます。ERL のインポートの詳細については、[複数の ERL のインポート](#)を参照してください。

Off-Premise ERL 情報のエクスポート

ERL の設定のバックアップや移動などに使用するために ERL エクスポート ファイルを作成するには、[Export ERL] ページを使用します。ERL のインポートの詳細については、[ERL 情報のエクスポート](#)を参照してください。

スケジュールされた Intrado アップデートの追加

Emergency Responder と Intrado の間で ALI アップデートとセカンダリ ステータス アップデートのスケジュールを作成できます。スケジュールされた ALI アップデートは、新しく作成された TN レコードを Intrado に送信します。スケジュールされたセカンダリ ステータス アップデートにより、クエリーが修正されたエラーがあるレコードの情報を要求する Intrado に送信されます。

Emergency Responder と Intrado の間でスケジュールされたアップデートを追加するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Emergency Responder から、[ERL] > [Intrado ERL] > [Intrado Schedule] を選択します。
[Intrado Schedule] ページが表示されます。
- ステップ 2** アップデートをスケジュールする曜日と時刻を選択します。
- ステップ 3** このスケジュールをアクティブにする場合は、[Enable Schedule] ボックスをオンにします。
- ステップ 4** [ALI Update Schedule] と [Secondary Status Update Schedule] のどちらかを選択します。
- ステップ 5** スケジュールをスケジュールのリストに追加するには、[Add] をクリックします。
-

関連トピック

- [Emergency Responder ユーザの管理](#)
- [Emergency Responder ロールの管理](#)
- [Emergency Responder ユーザ グループの管理](#)
- [Emergency Responder へのログイン](#)
- [サーバおよびサーバ グループの設定](#)
- [Emergency Responder クラスタおよびクラスタ DB ホストのセットアップ](#)
- [Cisco Unified Communications Manager クラスタの変更](#)
- [緊急応答ロケーションの使用](#)
- [Emergency Responder スイッチの設定](#)
- [電話機の管理](#)
- [Secondary Status](#)
- [Intrado Schedule](#)

スケジュールされた Intrado アップデートの更新

Emergency Responder と Intrado の間でスケジュールされたアップデートを更新するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Emergency Responder で、[ERL] > [Intrado ERL] > [Intrado Schedule] を選択します。
[Intrado Schedule] ページが表示されます。
- ステップ 2** 更新するスケジュールの横にある [Edit] リンクをクリックします。
- ステップ 3** 曜日と時刻を選択します。
- ステップ 4** このスケジュールをアクティブにするには、[Enable Schedule] ボックスをオンにします。
- ステップ 5** [Update] をクリックしてスケジュールの一覧のスケジュールを変更します。
-

関連トピック

[Emergency Responder ユーザの管理](#)
[Emergency Responder ロールの管理](#)
[Emergency Responder ユーザ グループの管理](#)
[Emergency Responder へのログイン](#)
[サーバおよびサーバ グループの設定](#)
[Emergency Responder クラスタおよびクラスタ DB ホストのセットアップ](#)
[Cisco Unified Communications Manager クラスタの変更](#)
[緊急応答ロケーションの使用](#)
[Emergency Responder スイッチの設定](#)
[電話機の管理](#)
[Secondary Status](#)
[Intrado Schedule](#)

■ スケジュールされた Intrado アップデートの更新